

◎ポラス、船橋市で感染対策徹底の分譲M
―設備を非接触化、1期は早期成約見込み

ポラスグループの中央住宅は、千葉県船橋市で感染対策を徹底した分譲マンション「ルピアコート津田沼」（RC造7階建て、53戸）の販売を始めた。水回りや玄関などを非接触方式にした。1期20戸が早期に成約する見込み。

所在地（船橋市前原西4―579―3）はJR総武線・津田沼駅から徒歩12分。1期の販売価格は399万8千528円、参考坪単価215万円。間取りは3LDK（68・02―71・75㎡）。4月29日から約1カ月間の事前反響は、完全予約制で運営するモデルルームへの来場者が100組超で、5月28日時点で20組程度と成約に向けた調整に入る見通し。来場者は船橋市内、習志野市、市川市など県内から9割ほどで、東京都は城東地域が多い。設計施工はイチケン、販売提携は東京中央建物。竣工は22年5月中旬の予定。

ダイニングテーブルとキッチンが一体となった島型の「ピアキッチン」や、廊下と寝室の境界壁の廊下側を展示空間とし上部に照明も配した「片寄マイギャラリー」、閉めた状態でも換気できる玄関ドア、折り畳み式カウンターテーブルを使って収納空間にもテレワーク空間にもできる可変式の個室「変身クローク」などを採用した。

感染症対策では、住戸の洗面所やキッチンの水栓を非接触化。共用部分はエレベーター、ごみ置き場への扉、宅配ロッカー、玄関を非接触とした。このほか共用部には、機械式駐車場の付随施設として車の出し入れ時の子供の待機所「まもるんスペース」、子供が自力で自転車を出し入れできる平置き駐輪場「キッズサイクルポート」などを採用し、子供の安全と利便性にも留意した。